

## 地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	南九州市茶業振興会
役職	地域おこし協力隊
氏名	高久博子
着任日	令和2年2月1日

活動月	令和2年3月（着任令和2年2月）
主な活動	<b>1. Facebook 用写真撮影・記事作成・投稿</b> <b>2. ホームページ更新およびお茶注文発送作業</b> <b>3. 各会合出席および地域訪問</b>

### 1. Facebook 用写真撮影・記事作成・投稿

先月は、主に他の職員から提供された写真を投稿もしくは会議の様子を投稿したが、今月はいよいよ新茶摘採の前月となり、自分で茶畑の様子の写真撮影と投稿をはじめた。記事については詳細がわからない内容について、また茶業関係者の皆さんの気持ちを理解ができていない中で記事を書くことの難しさを実感している。現時点では、消費者の視点で興味を感じる記事内容、写真を心がけている。

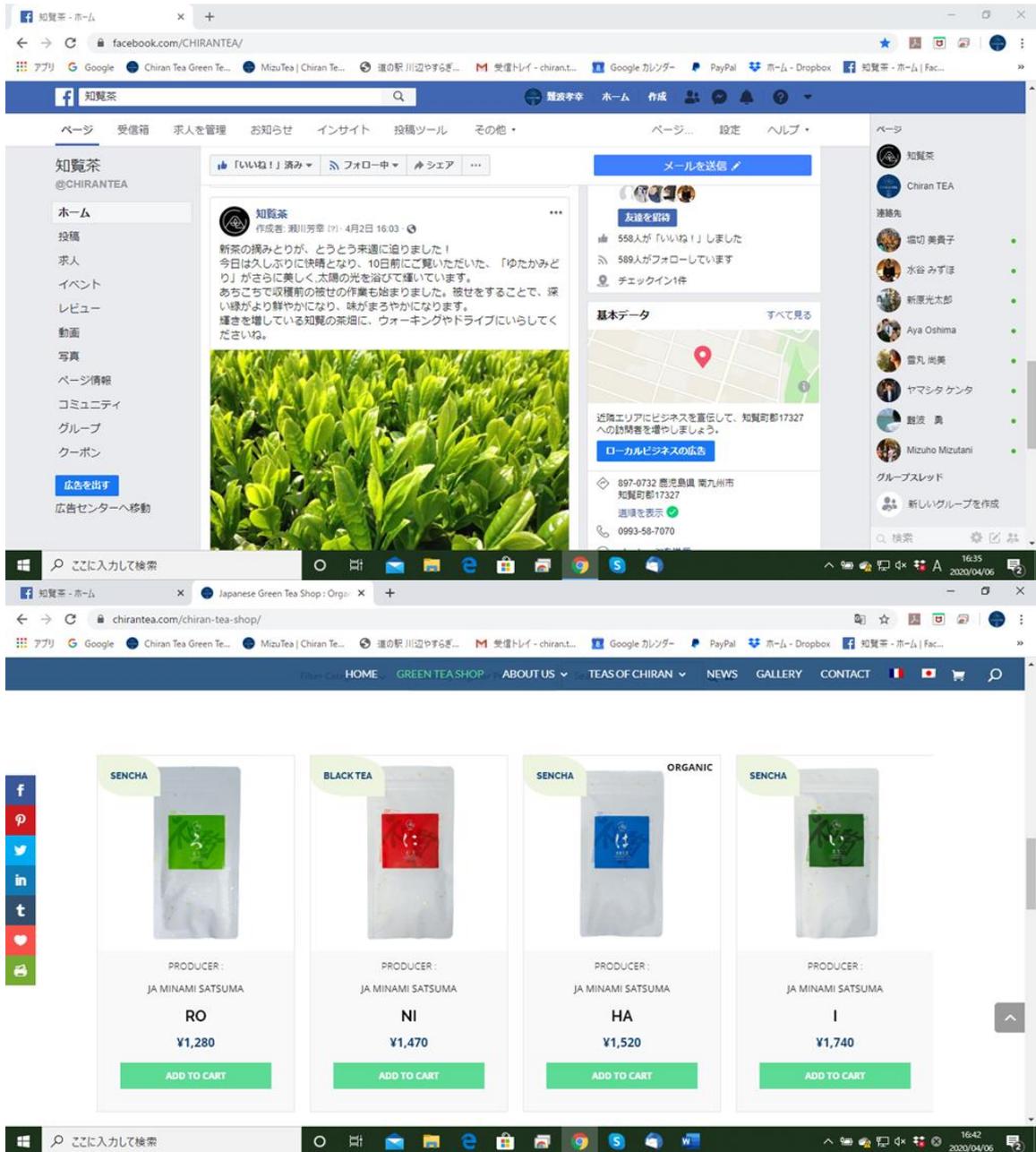
来月以降も、生産者の方々の気持ちを消費者に伝えつつ、消費者の方々の知らないお茶の世界を伝える記事を心がけようと思う。また同時に Facebook にアクセスをした人々に対し、リピーターを増やしていくように、対応していかなければならないと思う。



## 2. ホームページ更新およびお茶注文発送作業

前月に HP の更新の作業を開始し、訂正箇所の修正を開始した。HP 開始以来、生産者リストや統計などの変更箇所も多いため、細かい数字などを慎重に訂正をしている。

また今月は、着任以来はじめて海外からのお茶の注文があり、JA 南さつま知覧茶業センター、いぶすき茶業センターへ出向いてお茶を購入し、米国や英国からの注文に対し、発送作業を行った。



### 3. 各会合出席および地域訪問

先月に引き続き初めての会合で、地域おこし協力隊としての挨拶および活動の紹介をさせていただきます。

また今月は、宮原園さん、薩摩英国館さん、知覧さくら館さんを訪問しお話を伺う機会を得た。

宮原園さんは、贈答用のお茶の需要とともに、徳用のティーバックや抹茶の需要が多いとお話され、今後当知覧茶ホームページでの販売にも関心をお持ちいただいた。

薩摩英国館さんは、紅茶のミュージアムを営業されているが、訪問される方から日本茶についても聞かれることがあるとのことで、今後日本茶のスペースも考えられているとのことである。

また知覧茶 Facebook にも関心をお持ちいただき、Facebook での日本茶の写真を英国館さんでも展示されたいとお話をいただいた。緑茶と紅茶の違いはあるが、同じ知覧茶であり、協力できるところはしていきたいと感じた。

また知覧さくら館さんは、食事、宿泊施設であるが、受付横に知覧茶のコーナーをつくられていて、知覧はお茶が盛んになってくれることが大事であるとお話をお聞きした。利用者からは有機煎茶が好まれているとのことであった。知覧茶は、南九州市内の地域単位で支部に分かれているが、知覧茶として銘柄統一を果たしているので、活動についても一つになって発展してほしいのご意見をいただいた。

なかなか事務作業に追われてしまうこともあり、外へ行く機会はまだまだ少ないと思う。

ようやく車の運転も少しできるようになり、来月は新茶がはじまるので、さらに地域の方と接する機会を増やしていきたいと考えている。

引き続き皆様のご意見をお伺いしたく、お目にかかるときは、よろしく願いいたします。

